



吹奏楽プレイヤーのための

JAZZ & POPS HANDBOOK

PART 1

ハ音記号用

【はじめに】

「JAZZ & POPS HANDBOOK」は、ジャズやポップスの演奏を始めたいと思っている方や、もっとかっこよく演奏できるようになりたいという方のためのテキストです。

吹奏楽や金管バンド、ビッグバンドなどバンドの編成に関係なくどなたでも取り組んでいただけるように作成しました。

また、テキストと連動した動画も公開していますので、動画を見ながら一緒に練習いただくと、より効果的にジャズやポップスの演奏法が身につくようになっていきます。

このHANDBOOKを手にした方みなさんが、楽しみながらジャズ、ポップスの演奏に取り組んでいただければ幸いです。

さあ、一緒にはじめましょう！



【練習の前に】

- この楽譜(PART1)は個人練習を想定して作成しています。楽器の調性にあわせて伴奏音源を選んで練習してください。

in C: ファゴット、コントラバス、エレキベース

in B \flat : トロンボーン、バリトン、ユーフォニアム、チューバ

- 楽譜はオクターブを重ねて記していますが、どちらか吹きやすい音域を選んで練習しましょう。


上: トロンボーン、バリトン、ユーフォニアム、コントラバス、エレキベース

下: チューバ

【練習のポイント】


- 楽器で練習する前にマウスピースを口に当てて（くわえて）シラブル（Do Da …）を声に出して歌ってみましょう。
※楽器やマウスピースの音は出しません！
- 最後の音(t)は「ッ」の発音が入るイメージでしっかり止めます。
場合によっては舌を使って音を止めます。
※特に休符の前は気をつけましょう。
- リズムだけにとらわれず、シラブルの違いを使って発音で表現しましょう。
オフビートからオンビートへ（裏拍から表拍へ）フレーズが繋がるように意識します。
- 4/4拍子の場合、基本的に2拍目と4拍目に強拍がありますが、1拍目のタイミングがおろそかにならないように気をつけましょう。

LESSON 1

Even 

Do Da Do Da Do Da Do Da Do Da Do Dat

↑
※休符の始まりを感じましょう

Swing 

Doh Da Doh Da Doh Da Doh Da Doh Da Doh Dat

↑
※休符の始まりを感じましょう

注1.(t)は音を止める際に舌で音を止める場合もある。

注2.evenは通常の八分音符の事で、同意としてeven 8th, straight notes等様々な表記があるがこのテキストではevenと記載する。

